

国保特別会計の財政状況は

質問

国民健康保険は、当市の世帯数の45%以上、被保険者数で30%以上が加入している重要な医療保険である。

団塊世代の退職に伴い加入者数は増加し、各市町村は厳しい財政状況に置かれている。当市の財政状況はどうか。

市民生活部長

調定額は21年度17億927万7千700円。22年度16億2千318万5千円で、対前年度8千609万2千700円の減。収入は10月末で、21年度8億9千605万9千406円。22年

度8億6千12万500円で、対前年度3千593万9千356円の減。

保険給付費は10月末で、21年度24億5千169万8千156円。22年度25億4千210万5千49円で、対前年度9千46万6千893円の増である。

質問

保険税の賦課方法について、県下の各市の状況はどうか。

市民生活部長

県下37市中、所得割・均等割の2方式が2市、所得割・均等割・平等割の3方式が5

市、愛西市のように所得割・資産割・均等割・平等割の4方式が30市となっている。

質問

賦課に不平等感のある資産割について、見直す考えはあるか。

市民生活部長

国保運営協議会の委員の皆さんの意見も踏まえ、考えて

いきたい。

質問

国保特別会計を維持していくことは、今後大変厳しい状況になってくると思うが、来年度の国保税の税率については、どのように考えているか。

市長

合併後、最低の位置の保険

料を続けてきたが、もう限界であり、税率を上げる考えである。今後は国・県の動向を見ながら進めていく。

各県道整備計画は

質問

佐屋地区と佐織地区をつなぐ重要な路線である県道富島・津島線の歩道設置について、津島市内の整備計画はどうなっているのか。

質問

県道弥富・名古屋線の整備も進んでいないが、愛西市内及び弥富市内の計画はどうなっているのか。

経済建設部長

両側に住宅などが立ち並んでいる区間もあるので、今後は地元状況、財政状況なども考慮しながら検討すると県から回答があった。

経済建設部長

弥富市内は、国道155線付近の鯛浦工区、県道子宝・愛西線付近の又八工区で道路整備が行われており、愛西市内はこの事業がある程度進んだ段階で、市と相談し検討していくと県から聞いている。



大島 一郎 議員

